

製品名: OXSR1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15556**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	OXSR1
別名	OXSR1; KIAA1101; OSR1; Serine/threonine-protein kinase OSR1; Oxidative stress-responsive 1 protein
遺伝子 ID	9943.0
SwissProt ID	O95747
免疫原	抗血清はヒト OXSR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 272-321

背景

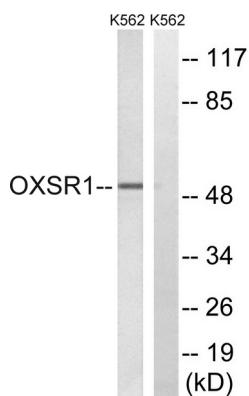
この遺伝子産物は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーに属する。環境ストレスに反応して下流のキナーゼを制御し、アクチン細

胞骨格の制御に関与している可能性がある。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素制御: スレオニンの自己リン酸化による。機能: 環境ストレスにตอบสนองして下流のキナーゼを制御する。アクチン細胞骨格の制御にも関与している可能性がある。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット: PAK1 に結合してリン酸化します。塩素イオンチャンネルタンパク質 SLC12A6 アイソフォーム 2、SLC12A1、SLC12A2 と相互作用するが、SLC12A4 および SLC12A7 とは相互作用しない。環境ストレスに対する細胞応答を開始させるセンサー/シグナル伝達モジュールを形成する可能性がある。RELL1、RELL2、および RELT に結合し、リン酸化を行う。組織特異性: 検査した全ての組織で普遍的に発現する。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



OXSR1 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。